

平成29年 3 月 31 日

（あて先）熊本市長

郵便番号

住所

団体名 NPO 法人 Lokahi ke Aloha

代表者 職名 代表理事 氏名 高木 嘉子



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成28年 6月 30日付け指令（地活）第23号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交付決定を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第20条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名 小学校でレッツ HULA!! ―ハワイのクムフラが小学校で古典フラを指導！

2 助成事業の実施期間

平成28年 5月 1日 ～ 平成28年12月31日

3 助成事業の内容

小学校の児童に、ハワイのクムフラ（フラの指導者）から実際に古典フラ（ハワイの伝統的な舞踊）の指導を受けてもらい、本物に触れるということがいかに大切かを体験してもらうこと、言葉の通じない両者がどのようにコミュニケーションをとり、指導していくのか、興味を持たせていくのかを小学校教諭にも体験してもらいコミュニケーション能力をスキルアップしてもらうこと。

4 事業の成果

今回、熊本県内の小学校長の協力があり、熊本市の小学校1箇所、宇城市の小学校1箇所で行うことができました。実際にハワイアンなフラの指導者から体を動かし踊ったり、目や鼻や耳など自分の身体の一部を使ってハワイ語を覚えたりし、ハワイの文化について興味深く触れていた。また、まったく日本語を使わなくても、大声を出さなくても、ハワイの指導者は子供たちの注意を逸らすことなく、授業の間中、子どもたちから注視されていた。これはただ珍しいからだけでなく、注意力がなくなるであろうと思われるタイミングに絶妙に子どもたちの興味のあることをしていた。教諭の方々もその授業のやり方を熱心に学ばれていた。

小さいうちから異文化に触れること、いろんな人がいるということ、いろんな言葉があるということ、そういうものを多感な時期から触れさせ、国際的な視野にたつて物事が考えられる人になることの一助になれたかと思う。また、大きな声を出さなくても、言葉が通じなくても子どもたちの気を引き付ける魅力ある授業ができること、それを実体験として感じてもらったことが成果だと思われる。今後、体験した教諭のみならずが参考にして下さることを願う。

そして12月、今回の事業の協力校の校長と副校長、担当教諭に実際に熊本に住む小学5年生で音が聞

こえにくい（人工内耳装着）男児が古典フラを踊っている姿をご覧いただいた。曲に適した衣装を着、ハワイ特有の植物で作ったレイを身に付け自分の中に鼓動を感じとり、日本文化で言うところのあ・うんの呼吸でHo'opa'a(唄を歌い楽器をたたく人)の叩くリズムに合わせ力強く踊る姿に校長らは感動していた。言葉ではないコミュニケーションの力を実際に感じ取っていただけたようだった。

5 助成事業の実施状況

平成28年7月12日（火）	若葉小学校訪問 小学1年生2クラスにハワイ語およびHULAを指導 共に給食をいただく
平成28年9月20日（火）	不知火小学校訪問 小学1年生・2年生にハワイ語およびHULAを指導
平成28年12月4日（日）	若葉小学校校長および不知火小学校副校長、担当教諭 に熊本在住の小学5年生の古典フラを披露

- (1) 事業収支決算書（様式第16号）
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

事業報告書

平成28年度	
事業名	小学校でレッツ HULA!! ―ハワイのクムフラが小学校で古典フラを指導！
目的	ハワイアンが脈々と古来より受け継ぎ大切を守り伝えている伝統文化のひとつである古典フラを日本に正しく紹介しハワイの文化に理解を深めてもらうこと、また、文字を持たなかったハワイアンがどのようにして子どもたちを教育していたのかを小学校教諭に実際に体験してもらいコミュニケーション能力のスキルアップの一助になること。
事業期間	平成28年 5月 1日 ～ 平成28年12月31日
具体的な 事業内容	◎平成28年7月12日(火) 若葉小学校訪問 1年生2クラスの生徒に対し音楽室にてハワイ語およびHULAの授業を行う。 Kumu Hula Keala Ching による古典フラの披露次いで生徒たちが自分で自分の身体を指しながらその部位のハワイ語を学ぶ。ウクレレの音楽で飛ぶ、伸びるなど身体と関連した動きをハワイ語で発しながらハワイ語とHULAを同時に学ぶ。質問コーナーでは生徒の素朴な疑問に対応する形でハワイの文化を学んだ。また給食を共にし、同じものを食べることでより親しみが沸いたようだった。 ◎平成28年9月20日(火) 不知火小学校訪問 1・2年生の生徒に対しハワイ語およびHULAの授業を行う。 不知火小学校に通う5年生の男子生徒による古典フラの披露。次いで生徒たちが自分で自分の身体を指しながらその部位のハワイ語を学ぶ。ウクレレの音楽で飛ぶ、伸びるなど身体と関連した動きをハワイ語で発しながらハワイ語とHULAを同時に学ぶ。質問コーナーでは生徒の素朴な疑問に対応する形でハワイの文化を学んだ。 ◎平成28年12月4日(日) メルパルク熊本にてハワイアンのフラを披露 若葉小学校長、不知火小学校副校長、担当教諭を招き、ハワイの文化を代表するハワイアンフラの披露を行った。HULAを披露メンバーの中に小学生が2名いるので彼らのパフォーマンスをご覧いただいた。特に不知火小学校に通う聞こえが不自由な小学5年生による古典フラを見ていただいた。
活動場所	熊本県熊本市立若葉小学校、熊本県宇城市立不知火小学校、メルパルク熊本
期待される 効果	ハワイアンのフラの指導者から体を動かし踊ったり、目や鼻や耳など自分の身体の一部を使ってハワイ語を覚えたりし、ハワイの文化について興味深く触れていた。また、まったく日本語を使わなくても、大声を出さなくても、ハワイの指導者は子供たちの注意を逸らすことなく、授業の間中、子どもたちから注視されていた。これはただ珍しいからだけでなく、注意力がなくなるであろうと思われるタイミングに絶妙に子どもたちの興味のあることをしていた。教諭の方々もその授業のやり方を熱心に学ばれていた。 小さいうちから異文化に触れること、いろんな人がいるということ、いろんな言葉があるということ、そういうものを多感な時期から触れさせ、国際的な視野にたつて物事が考えられる人になることの一助になれたかと思う。また、大きな声を出さなくても、言葉が通じなくても子どもたちの気を引き付ける魅力ある授業ができること、それを実体験として感じてもらったことが成果だと思われる。今後、体験した教諭のみならずが参考にして下さることを願う。 そして12月、今回の事業の協力校の校長と副校長、担当教諭に実際に熊本に住む小学5年生で音が聞こえにくい(人工内耳装着)男児が古典フラを踊っている姿をご覧いただいた。曲に適した衣装を着、ハワイ特有の植物で作ったレイを身に付け自分の中に鼓動を感じとり、日本文化で言うところのあ・うんの呼吸でHo' opa' a(唄を歌い楽器をたたく人)の叩くリズムに合わせて力強く踊る姿に校長らは感動していた。言葉ではないコミュニケーションの力を実際に感じ取っていただけたようだった。

様式第16号(第20条関係)

事業収支決算書

項 目		金 額 (円)	内 訳
収 入	自己資金	201,050	会費
			事業収益
			その他
	市民公益活動支援助成金	80,000	当該事業助成金交付決定額
	その他の補助金・助成金	0	
	寄附金・協賛金	0	
	その他	0	
	計	281,050	
支 出	助成対象経費	人件費	0
		報償費	0
		役務費	0
		使用料・賃借料	0
		事務費	0
		旅費	123,060 40,000
			通訳航空券(ハワイ⇄名古屋⇄熊本)＋ホテル 理事分旅費のうち助成決定額の1/2
		委託費	0
		その他	0
		小計	163,060
	助成対象外経費	飲食費	0
		旅費	117,990
		小計	117,990
	計	281,050	

※事業計画では学校訪問は熊本市立若葉小学校の1回を計画していたが、宇城市立不知火小学校の協力が得られたので2回行った。
また通訳者の通訳料を計上していたが通訳料はボランティアだという通訳者の申し出により、実績では通訳料が発生していない。